

3面から続く
水災害対策について問う

【質 問】雨水が集まりやすいくぼ地などにおいて、都では小規模パイプ管の設置などスポット対策を実施している。区として必要な箇所があれば積極的の設置を要すべきか。

【教 育 長】下水道局と浸水対策に関する情報共有や協議を行う際に、本対策も含め、地域の条件に見合った対策を引き続き要望していく。

【質 問】区が管理責任を持つすべての樹木について診断を行い、倒木リスクのある樹木については伐採する必要があると考える。見解は。

【区 長】街路樹については樹木診断を既に実施しており、診断結果の悪い樹木について、剪定・伐採していない施設についても適切な樹木管理について研究する。

教育について問う

【質 問】新教育長として、教育にける抱負を伺う。

【教 育 長】誰ひとり取り残すことなく、子どもたちの社会を生き抜く力の育成を図るとともに、人生100年時代に対応できる生涯学習社会のさらなる推進を図っていく。

【質 問】部活動指導員について、現場で指導状況の把握が困難な教育委員会では、どのように指導の適正さを担保していくのか伺う。

【教 育 長】学校に所属する会計年度任用職員の監督権限は学校長にあるため、一義的には学校長に対して部活動指導員を適宜適切に監督するよう求めることとなる。

【質 問】一人一台端末の故障時に、端末が手元でない状態を放置していたことは問題だが、どのように改善されたのか伺う。

【教 育 長】修理中の学校予備機の貸出しなどの手続きについて、現場の教員まで行き届いていなかったため、改めて周知徹底を促した。また、教育支援センターから貸し出す端末の運用方法を見直し、教員の負担軽減を図った。

【質 問】一人一台端末がない状態を解消するため、各校の予備機を増やすべきか。

【教 育 長】文科省においても、端末の故障は課題としており、補助金の適用範囲を予備機まで拡大する旨の通知を出している。7年度は機器更新では十分な予備機を配備できるよう、調査・検討を進めていく。

成島ゆかり



健康施策について問う

【質 問】介護認定調査にかかる時間や煩雑な調査票作成などの労働コストを考えると、委託料の増額が必要。見解は。

【区 長】現場の声に耳を傾け、委託料など調査受託の条件改善に向けた継続的な取り組みに努める考えである。

【質 問】認知症サポーターのスキルアップのため、認知症ケア技法である「ユマニチュード」の要素を認知症サポーターステップアップ講座に盛り込むべきか。

【区 長】サポーターの実践力をさらに高めるため、提案の内容も含め、より効果的な方法を調査・検討し、講座内容の充実に向けて取り組んでいく。

【質 問】難聴の早期発見のため、ヒアリングフレイルチェックをフレイルチェック測定会で実施すべきか。

【区 長】聴覚能力が衰えることと認知症などにつながる可能性があることには認識している。現在、「聞こえのセルフチェックシート」を作成し、自主的なチェックを呼びかけ、早期発見を図っていく。

【質 問】区内の健康に対する意識向上のため、いたばし健康ポイント付与の拡充を求めたい。見解は。

【区 長】6年5月から、10の筋トレとの連携を着手しており、ポイント付与を通じて高齢者の健康支援の充実を進めている。各種健診やフレイルチェック測定は、ポイント付与の導入に向けた検討を進めているところである。

【質 問】歯周病の早期発見・早期治療のため、さらに20歳及び30歳にも歯科検診対象を拡大すべきか。

【区 長】対象者の拡充に向けた検討を進めていく。



くらまだ 智子



区立小中学校での多様な学びの実現について問う

【質 問】不登校児童・生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成することができている。学びの多様な学びの区内設置について検討すべきか。

【教 育 長】他自治体への視察などを通して研究を深め、学びの多様な学びのあり方について検討していく。

【質 問】登校しづらいなど、不登校の初期段階から保護者同士が継続して交流できる場や相談・サポートが受けられる場をつくるべきか。

【教 育 長】保護者交流会や高校個別相談会を実施しており、実施回数や拡充など、交流や相談、サポートの場の充実を図っていく。

【質 問】個別最適な学びの実現に向け、単元内自由進度学習の導入を求める。見解は。

【教 育 長】単元内自由進度学習など、多様な授業の形を模索していく必要性を感じている。今後、個別最適な学びについて研究している。また、授業実践を周知するなど、さらなる授業革新に努めていく。

【質 問】母子健康手帳の表紙のイラストを区に由来のある絵本のデザインにしてはどうか。

【区 長】今後は、世界で活躍する区ゆかりの絵本作家とのコラボレーションを検討し、新たな視点で絵本のまじ板橋を展開していく。

【質 問】区立公園における花火の使用について、制限緩和の検討状況と今後の方針は。

【区 長】騒音などについての意見が多いため、一律禁止の意図は把握する実態調査を予定しており、利用者や隣住民双方の理解が得られる緩和のあり方を検討していく。

【質 問】子どもの付き添い入院について実態を把握し、必要はサポーターを検討すべきか。

【区 長】子どもの入院に付き添う保護者の食事や睡眠などの負担について、国などの調査により状況を把握している。今後、区内の小児病棟を

五十嵐やす子



学校以外の場で学ぶための支援と教育の中立性を問う

【質 問】母子健康手帳の表紙のイラストを区に由来のある絵本のデザインにしてはどうか。

【区 長】今後は、世界で活躍する区ゆかりの絵本作家とのコラボレーションを検討し、新たな視点で絵本のまじ板橋を展開していく。

【質 問】子どもが頻りに登校のみをめざす取組を再評価したことを、子どもに開く危険性があつたと強く指摘する。見解は。

【教 育 長】(株)スタジの取組みが不登校のすべての事例に有効とは考えられなかったが、効果は得るものがあるかとの思いで話を進めたものである。

【質 問】教育委員会に対し、特定の団体や議員などから働きかけがあつたのではないかと疑問の声が上がっている。教育の中立性について、見解と今後の対策は。

【教 育 長】(株)スタジを学校現場に活用することは、特定の団体や議員から働きかけがあつた事実はなく、教育委員会事務局が主体となり進めたものである。今後も教育基本法の理念を踏まえながら、教育施策を責任をもって進めていく。

【質 問】多様な学びの場があること、特定の団体や議員などから働きかけがあつた事実はなく、教育委員会事務局が主体となり進めたものである。今後、教育基本法の理念を踏まえながら、教育施策を責任をもって進めていく。

【質 問】子どもが頻りに登校のみをめざす取組を再評価したことを、子どもに開く危険性があつたと強く指摘する。見解は。

【教 育 長】(株)スタジの取組みが不登校のすべての事例に有効とは考えられなかったが、効果は得るものがあるかとの思いで話を進めたものである。

【質 問】教育委員会に対し、特定の団体や議員などから働きかけがあつたのではないかと疑問の声が上がっている。教育の中立性について、見解と今後の対策は。

【教 育 長】(株)スタジを学校現場に活用することは、特定の団体や議員から働きかけがあつた事実はなく、教育委員会事務局が主体となり進めたものである。今後も教育基本法の理念を踏まえながら、教育施策を責任をもって進めていく。

大森 大



【質 問】今回の問題を繰り返さないための対策と子どもの権利条約を教育委員会や学校現場で学び直すことを求める。見解は。

【教 育 長】一事業を検討・実施する際には、広く情報共有を図りながら慎重に協議を進めるよう管理職に対し強く指導した。子どもの権利条約については、その理念や内容の理解を深めていく。

【質 問】学校以外の場で学ぶ必要があるとする低学年の子どもが増えている。早急な対応が必要と考える。見解は。

【教 育 長】低学年の児童については、区内に様々な種類の居場所を設置し周知しているが、まずは学校内の居場所における一人ひとりに寄り添った支援の充実が重要と考える。

【質 問】多様な学びの場があることを保護者と情報共有し、寄り添い、理解を深めるのか。現状を伺う。

【区 長】6年9月1日現在、7名の区民が居居しており、当面は現在の生活を継続することも確認している。

【質 問】交通意見交換会は、コミュニケーションの導入の検討も含めて実施すべきか。

【区 長】東新町・小茂根地域では、バスが通行できる道路が限られており、現状ではコミュニティバスの導入を含めて検討することはできない。※以上のほか、平和をつくるための方法について質問があった。

【質 問】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】小学生の朝の居場所の確保について、見解は。

【教 育 長】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】小学生の朝の居場所の確保について、見解は。

【教 育 長】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】小学生の朝の居場所の確保について、見解は。

【教 育 長】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】小学生の朝の居場所の確保について、見解は。

【教 育 長】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】小学生の朝の居場所の確保について、見解は。

【教 育 長】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

くまだ 智子



災害対策について問う

【質 問】防災行政無線の放送が聞き取れなかった場合に備え、電話応答サービスを行っているが、防災情報の迅速な伝達を行うために、公式LINEでプッシュ型の配信を行うべきか。

【区 長】防災メールや区公式LINEなどを活用し、適時、適切に情報を発信しているが、防災行政無線との連携を含め、今後より確実な伝達方法を検討していく。

【質 問】区内児童養護施設と連携し、家庭養護であるファミリーホームの設置に向けて取り組むべきか。

【区 長】里親や児童養護施設などと日頃から連携を行う中で、相談があれば、前向きに検討していく。

【質 問】子育て世代の多様なニーズに対応する16か所の児童館の機能をより強化させ、専任相談員を設置する「エール館」にすべきか。

【区 長】こども家庭センター機能との連携強化を図るなど、さらなる充実に向けて検討していく。

石川すみえ



子育ての経済格差の解消に向けて

【質 問】葛飾区では7年度より、小中学校の副教材費の無償化などを実施する予定だが、板橋区でも同様の支援策を求める。見解は。

【教 育 長】小中学校の副教材費などは、既に生活困窮世帯に対する就学援助により経済支援を実施している。認定基準を23区の平均より高く設定しており、現時点で無償化を実施する予定はない。

【質 問】米不足や米価の高騰などが学校給食へ影響していると考え、質を下げることなく、学校給食費の無償化の継続を求める。見解は。

【教 育 長】学校給食の食材調達においても、物価高の影響を受けている状況である。今後も質の確保に努め、7年度も無償化を継続していく。

物価高騰から区民生活を守るために

【質 問】黄金の引上げなどが物価高騰に追い付かず、区民の暮らしが苦しくなっているという認識があるか伺う。

【区 長】総務省が発表した6年8月の消費者物価指数からも、物価高の影響は認識しているが、最低賃金の引上げなども予定されており、これらの影響にも注視していく。

【質 問】公共施設の使用料引上げは、区民の自主的活動を制限すると考える。見解は。

【区 長】区民の自主的な活動を積極的に推進していきたいと考えているが、公平性の観点から、利便を受ける方に相応の負担を求めていることを理解いただきたい。

【質 問】区内の温室効果ガス排出量は、7年度に平成25年度比で30%削減するという目標達成の見通しは。

【区 長】区内の温室効果ガス排出量は、3年度実績では17%の削減であり、目標達成には不断の努力が必要である。※以上のほか、改定地方自治法、都立北豊島工科大学、中山高校校舎の廃止撤回、青少年地域に公衆浴場を、青少年に対する自衛隊訪問問題について質問があった。

東新町・小茂根地域の公共交通の充実

【質 問】交通意見交換会は、コミュニケーションの導入の検討も含めて実施すべきか。

【区 長】東新町・小茂根地域では、バスが通行できる道路が限られており、現状ではコミュニティバスの導入を含めて検討することはできない。※以上のほか、平和をつくるための方法について質問があった。

子ども食堂について問う

【質 問】運営したい方と場所を提供できる方のマッチングについて、検討状況は。

【区 長】セキユリティの課題など、慎重かつ丁寧な対応が必要だが、活用範囲の拡充とともに、連携できる機関の拡大に鋭意取り組んでいく。

【質 問】クラウドサービスを用いた情報共有システムの活用について、今後の展望は。

【区 長】セキユリティの課題など、慎重かつ丁寧な対応が必要だが、活用範囲の拡充とともに、連携できる機関の拡大に鋭意取り組んでいく。

都市計画について問う

【質 問】3D都市モデルを都市開発が進んでいる地域へ拡大することについて、費用対効果も含め、見解は。

【区 長】今後、まちづくりにおける事業や計画のある地域などを対象に、必要に応じて、活用範囲の拡大や費用対効果を検討していく。

介護施策について問う

【質 問】介護認定調査にかかる時間や煩雑な調査票作成などの労働コストを考えると、委託料の増額が必要。見解は。

【区 長】現場の声に耳を傾け、委託料など調査受託の条件改善に向けた継続的な取り組みに努める考えである。

【質 問】認知症サポーターのスキルアップのため、認知症ケア技法である「ユマニチュード」の要素を認知症サポーターステップアップ講座に盛り込むべきか。

【区 長】サポーターの実践力をさらに高めるため、提案の内容も含め、より効果的な方法を調査・検討し、講座内容の充実に向けて取り組んでいく。

【質 問】難聴の早期発見のため、ヒアリングフレイルチェックをフレイルチェック測定会で実施すべきか。

【区 長】聴覚能力が衰えることと認知症などにつながる可能性があることには認識している。現在、「聞こえのセルフチェックシート」を作成し、自主的なチェックを呼びかけ、早期発見を図っていく。

【質 問】難聴の早期発見のため、ヒアリングフレイルチェックをフレイルチェック測定会で実施すべきか。

【区 長】聴覚能力が衰えることと認知症などにつながる可能性があることには認識している。現在、「聞こえのセルフチェックシート」を作成し、自主的なチェックを呼びかけ、早期発見を図っていく。

健康施策について問う

【質 問】区内の健康に対する意識向上のため、いたばし健康ポイント付与の拡充を求めたい。見解は。

【区 長】6年5月から、10の筋トレとの連携を着手しており、ポイント付与を通じて高齢者の健康支援の充実を進めている。各種健診やフレイルチェック測定は、ポイント付与の導入に向けた検討を進めているところである。

【質 問】歯周病の早期発見・早期治療のため、さらに20歳及び30歳にも歯科検診対象を拡大すべきか。

【区 長】対象者の拡充に向けた検討を進めていく。

子育ての経済格差の解消に向けて

【質 問】葛飾区では7年度より、小中学校の副教材費の無償化などを実施する予定だが、板橋区でも同様の支援策を求める。見解は。

【教 育 長】小中学校の副教材費などは、既に生活困窮世帯に対する就学援助により経済支援を実施している。認定基準を23区の平均より高く設定しており、現時点で無償化を実施する予定はない。

【質 問】米不足や米価の高騰などが学校給食へ影響していると考え、質を下げることなく、学校給食費の無償化の継続を求める。見解は。

【教 育 長】学校給食の食材調達においても、物価高の影響を受けている状況である。今後も質の確保に努め、7年度も無償化を継続していく。

物価高騰から区民生活を守るために

【質 問】黄金の引上げなどが物価高騰に追い付かず、区民の暮らしが苦しくなっているという認識があるか伺う。

【区 長】総務省が発表した6年8月の消費者物価指数からも、物価高の影響は認識しているが、最低賃金の引上げなども予定されており、これらの影響にも注視していく。

【質 問】公共施設の使用料引上げは、区民の自主的活動を制限すると考える。見解は。

【区 長】区民の自主的な活動を積極的に推進していきたいと考えているが、公平性の観点から、利便を受ける方に相応の負担を求めていることを理解いただきたい。

【質 問】区内の温室効果ガス排出量は、7年度に平成25年度比で30%削減するという目標達成の見通しは。

【区 長】区内の温室効果ガス排出量は、3年度実績では17%の削減であり、目標達成には不断の努力が必要である。※以上のほか、改定地方自治法、都立北豊島工科大学、中山高校校舎の廃止撤回、青少年地域に公衆浴場を、青少年に対する自衛隊訪問問題について質問があった。

東新町・小茂根地域の公共交通の充実

【質 問】交通意見交換会は、コミュニケーションの導入の検討も含めて実施すべきか。

【区 長】東新町・小茂根地域では、バスが通行できる道路が限られており、現状ではコミュニティバスの導入を含めて検討することはできない。※以上のほか、平和をつくるための方法について質問があった。

子ども食堂について問う

【質 問】運営したい方と場所を提供できる方のマッチングについて、検討状況は。

【区 長】セキユリティの課題など、慎重かつ丁寧な対応が必要だが、活用範囲の拡充とともに、連携できる機関の拡大に鋭意取り組んでいく。

【質 問】クラウドサービスを用いた情報共有システムの活用について、今後の展望は。

【区 長】セキユリティの課題など、慎重かつ丁寧な対応が必要だが、活用範囲の拡充とともに、連携できる機関の拡大に鋭意取り組んでいく。

都市計画について問う

【質 問】3D都市モデルを都市開発が進んでいる地域へ拡大することについて、費用対効果も含め、見解は。

【区 長】今後、まちづくりにおける事業や計画のある地域などを対象に、必要に応じて、活用範囲の拡大や費用対効果を検討していく。



田中いさお



新教育長のめざす教育行政について問う

【質 問】前教育長の教育施策の総括として、どの事業を評価するか。また、新教育長がめざす今後の教育行政は。

【教 育 長】板橋区授業スタンダード)による授業革新の取組みなどを通じて、区の子供・生徒の学力向上が、大きく図られたことは、最大限の功績と考える。今後は、学校教育と社会教育の両分野で学びの多様な充実を図っていく。

【質 問】生涯学習の基礎づくりとして、メタバースを活用した学習支援など、一層の環境整備を求めたい。見解は。

【教 育 長】今後もメタバースを活用した学習支援も視野に入れながら、児童・生徒一人ひとりに応じた支援の充実を

【質 問】部活動指導員について、現場で指導状況の把握が困難な教育委員会では、どのように指導の適正さを担保していくのか伺う。

【教 育 長】学校に所属する会計年度任用職員の監督権限は学校長にあるため、一義的には学校長に対して部活動指導員を適宜適切に監督するよう求めることとなる。

【質 問】一人一台端末の故障時に、端末が手元でない状態を放置していたことは問題だが、どのように改善されたのか伺う。

【教 育 長】修理中の学校予備機の貸出しなどの手続きについて、現場の教員まで行き届いていなかったため、改めて周知徹底を促した。また、教育支援センターから貸し出す端末の運用方法を見直し、教員の負担軽減を図った。

【質 問】一人一台端末がない状態を解消するため、各校の予備機を増やすべきか。

【教 育 長】文科省においても、端末の故障は課題としており、補助金の適用範囲を予備機まで拡大する旨の通知を出している。7年度は機器更新では十分な予備機を配備できるよう、調査・検討を進めていく。

【質 問】母子健康手帳の表紙のイラストを区に由来のある絵本のデザインにしてはどうか。

【区 長】今後は、世界で活躍する区ゆかりの絵本作家とのコラボレーションを検討し、新たな視点で絵本のまじ板橋を展開していく。

【質 問】子どもが頻りに登校のみをめざす取組を再評価したことを、子どもに開く危険性があつたと強く指摘する。見解は。

【教 育 長】(株)スタジの取組みが不登校のすべての事例に有効とは考えられなかったが、効果は得るものがあるかとの思いで話を進めたものである。

【質 問】教育委員会に対し、特定の団体や議員などから働きかけがあつたのではないかと疑問の声が上がっている。教育の中立性について、見解と今後の対策は。

【教 育 長】(株)スタジを学校現場に活用することは、特定の団体や議員から働きかけがあつた事実はなく、教育委員会事務局が主体となり進めたものである。今後も教育基本法の理念を踏まえながら、教育施策を責任をもって進めていく。

【質 問】多様な学びの場があること、特定の団体や議員などから働きかけがあつた事実はなく、教育委員会事務局が主体となり進めたものである。今後、教育基本法の理念を踏まえながら、教育施策を責任をもって進めていく。

【質 問】子どもが頻りに登校のみをめざす取組を再評価したことを、子どもに開く危険性があつたと強く指摘する。見解は。

【教 育 長】(株)スタジの取組みが不登校のすべての事例に有効とは考えられなかったが、効果は得るものがあるかとの思いで話を進めたものである。

【質 問】教育委員会に対し、特定の団体や議員などから働きかけがあつたのではないかと疑問の声が上がっている。教育の中立性について、見解と今後の対策は。

【教 育 長】(株)スタジを学校現場に活用することは、特定の団体や議員から働きかけがあつた事実はなく、教育委員会事務局が主体となり進めたものである。今後も教育基本法の理念を踏まえながら、教育施策を責任をもって進めていく。

【質 問】交通意見交換会は、コミュニケーションの導入の検討も含めて実施すべきか。

【区 長】東新町・小茂根地域では、バスが通行できる道路が限られており、現状ではコミュニティバスの導入を含めて検討することはできない。※以上のほか、平和をつくるための方法について質問があった。

【質 問】運営したい方と場所を提供できる方のマッチングについて、検討状況は。

【区 長】セキユリティの課題など、慎重かつ丁寧な対応が必要だが、活用範囲の拡充とともに、連携できる機関の拡大に鋭意取り組んでいく。

【質 問】クラウドサービスを用いた情報共有システムの活用について、今後の展望は。

【区 長】セキユリティの課題など、慎重かつ丁寧な対応が必要だが、活用範囲の拡充とともに、連携できる機関の拡大に鋭意取り組んでいく。

【質 問】3D都市モデルを都市開発が進んでいる地域へ拡大することについて、費用対効果も含め、見解は。

【区 長】今後、まちづくりにおける事業や計画のある地域などを対象に、必要に応じて、活用範囲の拡大や費用対効果を検討していく。

【質 問】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】小学生の朝の居場所の確保について、見解は。

【教 育 長】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】小学生の朝の居場所の確保について、見解は。

【教 育 長】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】生涯学習の基礎づくりとして、メタバースを活用した学習支援など、一層の環境整備を求めたい。見解は。

【教 育 長】今後もメタバースを活用した学習支援も視野に入れながら、児童・生徒一人ひとりに応じた支援の充実を

【質 問】部活動指導員について、現場で指導状況の把握が困難な教育委員会では、どのように指導の適正さを担保していくのか伺う。

【教 育 長】学校に所属する会計年度任用職員の監督権限は学校長にあるため、一義的には学校長に対して部活動指導員を適宜適切に監督するよう求めることとなる。

【質 問】一人一台端末の故障時に、端末が手元でない状態を放置していたことは問題だが、どのように改善されたのか伺う。

【教 育 長】修理中の学校予備機の貸出しなどの手続きについて、現場の教員まで行き届いていなかったため、改めて周知徹底を促した。また、教育支援センターから貸し出す端末の運用方法を見直し、教員の負担軽減を図った。

【質 問】一人一台端末がない状態を解消するため、各校の予備機を増やすべきか。

【教 育 長】文科省においても、端末の故障は課題としており、補助金の適用範囲を予備機まで拡大する旨の通知を出している。7年度は機器更新では十分な予備機を配備できるよう、調査・検討を進めていく。

【質 問】母子健康手帳の表紙のイラストを区に由来のある絵本のデザインにしてはどうか。

【区 長】今後は、世界で活躍する区ゆかりの絵本作家とのコラボレーションを検討し、新たな視点で絵本のまじ板橋を展開していく。

【質 問】子どもが頻りに登校のみをめざす取組を再評価したことを、子どもに開く危険性があつたと強く指摘する。見解は。

【教 育 長】(株)スタジの取組みが不登校のすべての事例に有効とは考えられなかったが、効果は得るものがあるかとの思いで話を進めたものである。

【質 問】教育委員会に対し、特定の団体や議員などから働きかけがあつたのではないかと疑問の声が上がっている。教育の中立性について、見解と今後の対策は。

【教 育 長】(株)スタジを学校現場に活用することは、特定の団体や議員から働きかけがあつた事実はなく、教育委員会事務局が主体となり進めたものである。今後も教育基本法の理念を踏まえながら、教育施策を責任をもって進めていく。

【質 問】多様な学びの場があること、特定の団体や議員などから働きかけがあつた事実はなく、教育委員会事務局が主体となり進めたものである。今後、教育基本法の理念を踏まえながら、教育施策を責任をもって進めていく。

【質 問】子どもが頻りに登校のみをめざす取組を再評価したことを、子どもに開く危険性があつたと強く指摘する。見解は。

【教 育 長】(株)スタジの取組みが不登校のすべての事例に有効とは考えられなかったが、効果は得るものがあるかとの思いで話を進めたものである。

【質 問】教育委員会に対し、特定の団体や議員などから働きかけがあつたのではないかと疑問の声が上がっている。教育の中立性について、見解と今後の対策は。

【教 育 長】(株)スタジを学校現場に活用することは、特定の団体や議員から働きかけがあつた事実はなく、教育委員会事務局が主体となり進めたものである。今後も教育基本法の理念を踏まえながら、教育施策を責任をもって進めていく。

【質 問】交通意見交換会は、コミュニケーションの導入の検討も含めて実施すべきか。

【区 長】東新町・小茂根地域では、バスが通行できる道路が限られており、現状ではコミュニティバスの導入を含めて検討することはできない。※以上のほか、平和をつくるための方法について質問があった。

【質 問】運営したい方と場所を提供できる方のマッチングについて、検討状況は。

【区 長】セキユリティの課題など、慎重かつ丁寧な対応が必要だが、活用範囲の拡充とともに、連携できる機関の拡大に鋭意取り組んでいく。

【質 問】クラウドサービスを用いた情報共有システムの活用について、今後の展望は。

【区 長】セキユリティの課題など、慎重かつ丁寧な対応が必要だが、活用範囲の拡充とともに、連携できる機関の拡大に鋭意取り組んでいく。

【質 問】3D都市モデルを都市開発が進んでいる地域へ拡大することについて、費用対効果も含め、見解は。

【区 長】今後、まちづくりにおける事業や計画のある地域などを対象に、必要に応じて、活用範囲の拡大や費用対効果を検討していく。

【質 問】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】小学生の朝の居場所の確保について、見解は。

【教 育 長】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

【質 問】小学生の朝の居場所の確保について、見解は。

【教 育 長】区立小中学校における児童の登校状況の実態や、区や他自治体の動向を注視しながら、様々な課題への対応を検討していく。

